学校番号	1011

令和８年度　(専)音楽科

教科	(専)音楽	科目	(学)音楽理論 A	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■音楽進学、保育系進学を考えている人のための学習が主ですが、それ以外の生徒も選択可能です。
■音楽進学、保育系進学を考えている場合は、２・３年次と継続履修することが望ましいです。
■授業では、実技演習を中心に、下記の４つの力を身につけられるよう取り組んでいきます。
・楽譜を見て歌う力（視唱）　・楽譜を見て楽器を演奏する力（視奏）　・音を聴き取って楽譜に書く力（聴音）　・楽譜の読み書きに必要な、音楽の基礎的な知識（楽典）
■学習の到達度は、授業で配布するワークシートや実試験と、楽典の筆記試験で評価します。

2　学習の到達目標

・楽譜を見て様々な情報を読み取り歌唱、器楽演奏ができる能力や、音や音楽を正しく聴き取り記譜することができる。
・学んだことを豊かな表現活動に生かすことができる。
・主体的・協働的に楽典・視唱・視奏・聴音の学習活動に取り組もうとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解することとともに、創育工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	音楽を形づくっている要素や要素同士を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に楽典・視唱・視奏・聴音の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	楽典(ステップ1)	【音楽理論・音楽史】 ・大譜表と音名 ・音符と休符 ・拍子 ・調号と主音 ・音階や旋法 ・音楽記号	a:音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解することとともに、創育工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 b:音楽を形づくっている要素や要素同士を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 c:主体的・協働的に音楽理論・音楽史の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 筆記試験	観察 ワークシート 筆記試験	観察 ワークシート
	視唱(ステップ1)	【歌唱】 ・視唱課題 (コールユーブンゲン、コンコーネなどから抜粋)	a:創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 b:音楽を形づくっている要素や要素同士を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。 c:主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 実技試験	観察 ワークシート 実技試験	観察 ワークシート 実技試験
	視奏(ステップ1)	【器楽】 ・単旋律の視奏(ピアノ) ・リズムアンサンブル演習	a:創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。 b:音楽を形づくっている要素や要素同士を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。 c:主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 実技試験	観察 ワークシート 実技試験	観察 ワークシート 実技試験

	聴音(ステップ1)	【聴音】 ・単音の聴音 ・穴埋め聴音 ・4分の4拍子、ハ長調、ト音記号の聴音	a:音楽の構造について理解を深めている。 b:音楽を形づくっている要素や要素同士を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽の構造を理解しながら聴いている。 c:主体的・協働的に聴音の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 実技試験	観察 ワークシート 実技試験	観察 ワークシート 実技試験
2学期	楽典(ステップ2)	【音楽理論・音楽史】 ・音程 ・和音の特徴 ・コードネーム ・音楽記号	a:音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創育工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 b:音楽を形づくっている要素や要素同士を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 c:主体的・協働的に音楽理論・音楽史の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 筆記試験	観察 ワークシート 筆記試験	観察 ワークシート
	視唱(ステップ2)	【歌唱】 ・視唱課題（コールユーブンゲン、コンコーネなどから抜粋） ・ボイスアンサンブル	a:創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 b:音楽を形づくっている要素や要素同士を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。 c:主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 実技試験	観察 ワークシート 実技試験	観察 ワークシート 実技試験

	試奏(ステップ2)	【器楽】 ・コード演奏を取り入れた視奏 （ピアノ） ・トーンチャイムアンサンブル	a:創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。 b:音楽を形づくっている要素や要素同士を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。 c:主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 実技試験	観察 ワークシート 実技試験	観察 ワークシート 実技試験
	聴音(ステップ2)	【聴音】 ・４分の４拍子、４分の３拍子、 ハ長調、ヘ長調ト音記号の聴音	a:音楽の構造について理解を深めている。 b:音楽を形づくっている要素や要素同士を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽の構造を理解しながら聴いている。 c:主体的・協働的に聴音の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 実技試験	観察 ワークシート 実技試験	観察 ワークシート 実技試験
3学期	楽典(ステップ3)	【音楽理論・音楽史】 ・形式 ・西洋音楽史 ・音楽記号 ・１年間のまとめ	a:音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解することとともに、創育工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 b:音楽を形づくっている要素や要素同士を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 c:主体的・協働的に音楽理論・音楽史の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 筆記試験	観察 ワークシート 筆記試験	観察 ワークシート

	視唱(ステップ3)	【歌唱】 ・視唱課題（コールユーブンゲン、コンコーネなどから抜粋）	a:創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 b:音楽を形づくっている要素や要素同士を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。 c:主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	察 ワークシート 実技試験	観察 ワークシート 実技試験	観察 ワークシート 実技試験
	視奏(ステップ3)	【視奏】 ・コード演奏を取り入れた視奏　（ピアノ）	a:創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。 b:音楽を形づくっている要素や要素同士を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。 c:主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 実技試験	観察 ワークシート 実技試験	観察 ワークシート 実技試験
	聴音(ステップ3)	【聴音】 ・４分の４拍子、４分の３拍子 ハ長調、ヘ長調、ト長調 ト音記号、ヘ音記号の聴音	a:音楽の構造について理解を深めている。 b:音楽を形づくっている要素や要素同士を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽の構造を理解しながら聴いている。 c:主体的・協働的に聴音の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 実技試験	観察 ワークシート 実技試験	観察 ワークシート 実技試験

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度